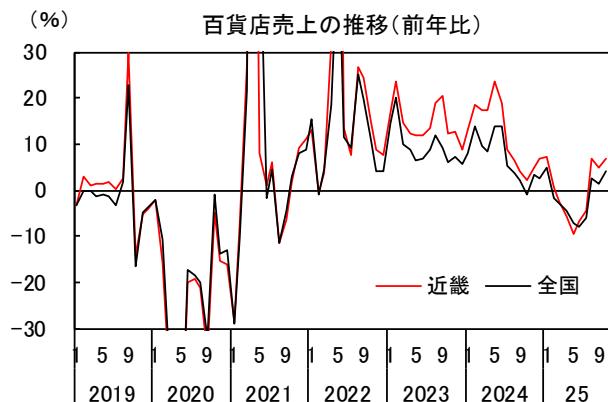
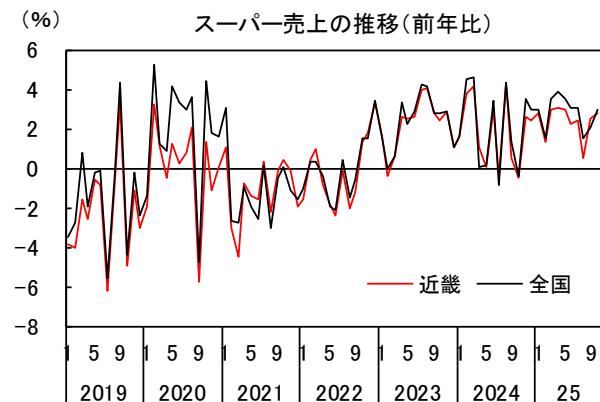


関西の景気トピックス【消費関連（25年10月）】

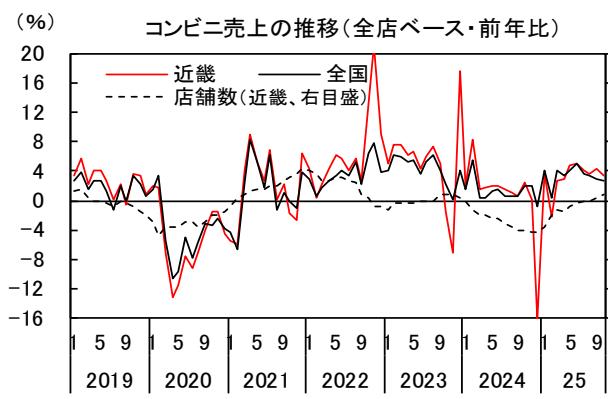
- 25年10月の百貨店売上（経済産業省）は前年比プラス7.1%と3か月連続の増加となった。前年が円高の進行等で訪日客消費が鈍化したため、その反動増が一因とみられる。一方、スーパー売上の10月は前年比プラス2.8%と、米価格や食料品価格の高騰などを背景に、売上が前年を上回る動きが続いている。
- コンビニ売上（経済産業省）は、10月は全店ベースで前年比プラス3.4%と8か月連続の増加となった。商品価格の値上げの影響に加え、インバウンド客の増加などもあり、売上の堅調な推移が続いている。
- 住宅着工戸数（国土交通省）の9月は、前年比マイナス7.1%と5か月連続の減少となった（3か月移動平均）。4月からの改正省エネ法導入の影響が大きいとみられ、前年を大きく下回る動きが続いている。
- 一部で売上が前年を上回る動きはあるが、値上げの影響が大きく、需要の強さを示すものとは言い切れない。住宅着工の前年割れも気掛かりであり、消費の基調は依然として楽観できない状況である。



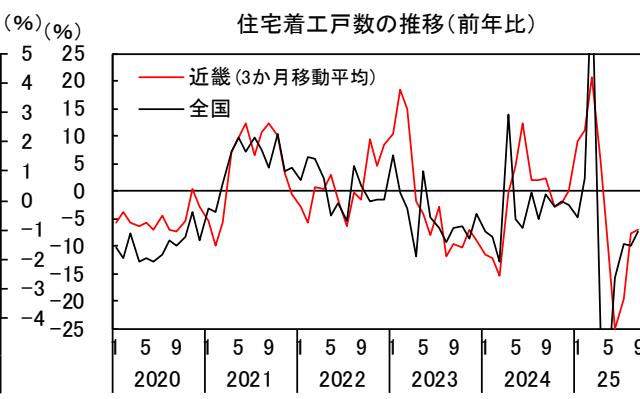
(出所) 経済産業省「大型小売店販売状況」



(出所) 経済産業省「大型小売店販売状況」



(出所) 経済産業省



(出所) 国土交通省「建築着工統計」